



No. 255

令和7年4月20日

一般社団法人
滋賀経済産業協会〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21 5階 TEL 077-526-3575 FAX 077-526-3577
E-mail: info@s-keisankyo.or.jp URL: https://www.s-keisankyo.or.jp

令和6年度 事業報告



石井会長

昨年度、われわれ企業は原材料高騰が続くことによるコスト上昇、成長と分配を目指すべく取り組んできた賃上げに伴う労務費上昇、人材不足など、多くの経営課題に直面してきました。また、急速に拡大する「生成AI」にどう対応していくのか、自動化など新たな技術への課題も浮上しています。働き方でも変化が見られ、自己実現や、生活・人生スタイルに合った働き方が重視されており、企業は今まで以上に変化する社会環境への対応が求められています。

さて、昨年度は「共創による価値提供の進化」をテーマに掲げ、事業を展開して参りました。事業の柱である委員会・研究会活動を通じて企業の人材育成に少しでも寄与できれば、との思いを持って取り組みました。以下、昨年度の事業概要について報告いたします。

労働雇用の分野では、経営の優先課題である人材確保に対し、令和3年度に締結したハノイ工科大学、滋賀県との三者覚書に基づき、昨年11月、第3回ベトナム・ジョブフェアを開催しました。県内企業12社が参加、滋賀県ブースは約1,500名が訪問、面接実施280名、結果として24名の採用予定に至りました。また、ハノイ工科大学生の短期就業体験を実施、就業に加え生活・文化体験を通じて互いを知る機会を設けました。また、障がい者雇用についても、企業と学

校の連携、定着への取組みなど、企業のサポートに注力しました。

厚生労働省(滋賀労働局)の受託事業「若年者地域連携事業」では、合同企業説明会・面接会を開催し、約270人の求職者を支援し、約40人の就職に至りました。また、UIJターン就職支援として5大学、約130人の学生を支援しました。高校生を対象にした職場見学会では8校、約900人の地域企業へ触れる機会を創出しました。一方、受託金額の問題や会員企業への事業効果が課題となっており、当年度で受託を終了し高校、大学との連携事業を再構築する方針です。また、地域企業の高校生採用は年々厳しさを増しており、その実態と定着の重要性を滋賀県に対し引き続きお伝えして参ります。

また、滋賀県立高等専門学校の令和10年開校に向けて、「県立高専共創フォーラム」が開催され、いよいよ構想段階から具体化へ始動しました。開校に向けた要望、意見などを反映できるように努めて参ります。

企業の新たな共創機会を目指した「滋賀県新技術・新工法展示商談会」では、計3回開催し、見積・試作は22件、商談先2企業の技術者約320人との接点を創出しました。新たな技術面の共創に対する取組みをさらに具現化したいと考えています。

各地域で開催する「地域別懇話会」は大津地区、草津・栗東・守山・野洲地区、甲賀・湖南地区の3地区



お知らせ

令和7年度 通常総会 開催案内

【開催日】令和7年5月19日(月)

通常総会 15:00～ / 講演会 16:10～

会員懇話会 17:30～

【会 場】琵琶湖ホテル

テーマ:「経営者こそリスキリング～DXの加速化に向けて～」

講 演: 国立大学法人滋賀大学 学長 竹村 彰通 氏

で開催しました。市町の首長、滋賀県の商工観光労働部・教育委員会、滋賀労働局が参加し、地元高校生の採用難、外国人雇用に関する生活支援、各市町の産業支援策への要望など、様々な意見交換を行い会員相互



のコミュニケーションを図りました。

会員企業数は令和6年3月末、468社(前年比+11社)となりました。これまでの企業ご紹介に対し、あらためて御礼申し上げるとともに、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。また、広報事業ではHP、経産協ニュースの見直しについて検討を重ね、来年度に内容を刷新し協会のPR強化につなげる予定です。

最後になりますが、一昨年、滋賀工業会と滋賀県経営者協会の統合により、一般社団法人滋賀経済産業協会が設立され20周年の節目を迎えました。あらためて会員企業様のご発展を祈念申し上げるとともに、行政要望や研究会事業を通じて、会員企業様のご発展に少しでも寄与できるように活動を展開して参ります。

皆様方の倍旧のご支援をお願い申し上げます。

2025大阪・関西万博

2025.7.24

滋賀県 meets EXPO

2025.7.24

滋賀県メデイ

びわ湖サマークルーズ

Shiga Day -Lake Biwa Summer Cruise-

2025年7月24日 木

EXPO ホール「シャインハット」

滋賀県の中央部に位置するびわ湖は、京阪神地域を含む1,500万人の暮らしと産業を支える日本最大の湖です。会場の皆さまには、滋賀の子どもたちが湖上をめぐり、環境について学ぶ学習船「うみのこ」を疑似体験いただきながら、滋賀県内をめぐり、ステージ上で繰り広げられるパフォーマンスを通じて、滋賀の魅力をお伝えします。EXPOホールで、爽やかな琵琶湖の風を感じてください。

大阪・関西万博で滋賀の魅力を発信！

2025年の大阪・関西万博に向けて、滋賀県がさまざまな展示やイベントを企画しています！琵琶湖をテーマにした体験型展示や、県内企業の技術を活かしたブース、特別イベントなど、見どころが満載です。

詳しくはこちら▶



新入会員 ご紹介

株式会社PRO-SEED



代表者氏名
およびお役職

代表取締役社長
青柳 孝幸

業 種

情報通信業

資 本 金

700万円

従業員数

16名

所在地

滋賀県彦根市原町192番地1

TEL

0749-24-8737

FAX

0749-24-8747

E-mail

recruit@pr-seed.com(担当窓口)

URL

<https://www.pr-seed.com/>

株式会社PRO-SEEDは、あらゆる自動化に必要な制御システムの構築を提供する、滋賀県彦根市に本社を置くシステム・インテグレーター企業です。産業オートメーション分野でトップシェアの『シーメンス』のソリューションパートナー企業として、産業用の自動化設備のシステム・ソフト・ハード設計から現地試運転調整・メンテナンスまで全てを一貫して行なっています。2022年には国体会場となる彦根市スポーツ・文化交流センター「プロシードアリーナ HIKONE」のネーミングライツを取得しました。オープン以降、彦根市民の皆さまへFAの価値を広く伝える活動をしています。また、彦根をエンジニアの街にしたいという思いで、子ども向けのロボット教室を運営し、次世代のFAエンジニア育成を行っています。

中川産業株式会社



代表者氏名
およびお役職

執行役員 戦略開発部 部長
奥田 直樹

業 種

鉄鋼シャースリット業

資 本 金

2,468万円

従業員数

65名

所在地

京都府久世郡久御山町田井塔ノ本14-1

TEL

0774-39-3070

FAX

0774-39-7702

E-mail

okuda.naoki@nakagawa-on.co.jp

URL

<http://www.nakagawa-on.co.jp>

↑ 「P」 入れました

弊社は「鋼加工のプロ」コイルセンターとして、P様をはじめ多種多様な大手企業様からの信頼を勝ち得ることができ創業75年以上が経過、次なる目標は創業100年に向け、戦略開発部として【ステンレス鋼・形鋼切断等】・【M社先端技術総合研究所様・M社産業メカトロニクス製作所様・M社エンジニアリング様向け部品加工・試験・組立等】エリアを拡張し、更なる飛躍をと考えております。弊社の強みは大量生産・大量消費から多品種・小ロット生産に移行する時代の流れを読み、質と量を圧倒的なスピードで提供する体制を構築致しました。顧客ニーズが旺盛な半導体関連【精密板金・機械加工等】・産業メカトロニクス関連・装置組立関連等の顧客層に戦略的な販売を行い多彩な分野へと客層を広げています。何卒よろしくお願い申し上げます。

有限会社イーグル電子製作所



代表者氏名
およびお役職

代表取締役
南 大介

業 種

製造業

資 本 金

300万円

従業員数

11名

所在地

滋賀県彦根市南川瀬町1555-1

TEL

0749-25-3297

FAX

0749-25-3987

E-mail

d-minami@eagle-ss.co.jp

URL

<https://eagle-ss.co.jp/>

昭和51年に制御盤製作の会社としてスタートし、来年で創業50年を迎えます。これまでたくさんのお客様に恵まれ、支えられ、育てていただきましたことに心より感謝いたしております。今では「制御」というジャンルでお仕事させていただいておりますが、日進月歩の技術革新に取り残されまいと、常に新しいことにチャレンジする精神で日々取り組んでおります。これからも更にみなさんのお役に立てるよう努力精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度「障がい者雇用促進セミナー」開催



「障がい者雇用促進セミナー」開催

2月26日(水)、ライズヴィル都賀山において「障がい者雇用促進セミナー」が開催され、企業の担当者や支援機関、行政関係者など38名が参加した。

前回の障がい者雇用促進セミナー(10/16開催)の事後アンケートで、「意見交換の場が欲しい」という意見が複数あり、本セミナーでは、第3部に「障がい者雇用についての困りごと」というテーマで意見交換場の場を設定した。

第1部 養護学校における進路指導について

滋賀県立草津養護学校・進路指導部部長の夏原知之氏に「滋賀県下の養護学校の進路指導の実際」と題してご講演いただいた。

養護学校の進路指導について、基本的な流れや就労後の継続的な支援についての説明があった。学校での教育内容にも触れていただき、生徒の卒業後の支援について関係機関との連携についての説明もあった。

第2部 障がい者雇用の事例紹介

始めに、国立大学法人滋賀医科大学の人事課課長である浅井清美氏に「障がい者雇用の現状と雇用促進の課題～継続と挑戦 地域との連携を見据えて～」と題して、ご講演いただいた。

続いて「多久製作所の障がい者雇用への取り組み～Ikigai(生きがい)の探求 誰ひとり取り残さない職場づくりへの挑戦～」と題して、(株)多久製作所の取締役、生産本部 SDGs推進の菅野秀明氏と、生産本部購買企画部、部長の高木大輔にご講演いただいた。

各校・各社から、業務の切り出し、社内研修や定着

支援、養護学校・各機関との連携等について、実例を交えて詳しく紹介いただいた。参加者が障がい者雇用を促進していく上で、気づきの多い具体的な実践内容であった。

第3部 障がい者雇用についての困りごと

(意見交換会)

障がい者支援に関する専門的な資格をお持ちの方も含めて、5名前後のグループになり、上記の題材で意見交換会を行った。たいへん活発な意見交換が行われ、以下の内容が中心に挙がった。

- ・採用や職場配置
- ・業務の切り出しや仕事量の確保
- ・職場理解と定着支援の在り方
- ・雇用形態とキャリアアップ

第4部 障がい者雇用に関する企業への支援について

まず、働き・暮らしコトラーセンターの雇用支援ワーカーである口分田 一樹氏より「職場の環境調整や定着等のサポート」と題してご講演いただいた。

そして、滋賀労働局、地方障害者雇用担当官である金谷 真佐男氏から「障がい者雇用の流れ・利用できるサービスや支援策について」と題してご講演いただいた。

それぞれの機関から職場の環境調整や就労の定着等に関して利用できるサービスや支援体制について説明をしていただいた。

参加者のアンケートからは、多くの方から「満足」以上の回答をいただくことができた。事例紹介や制度の説明に加えて、意見交換会に対する前向きな感想をいただいた。多くの方とつながり・交流できる機会をセミナー等で継続していく所存である。

今後の課題は、雇用の定着についてである。障がい者の方の採用等ができて、社員の理解や支援体制の調整がされないと雇用が促進されない。次回以降のセミナーでは、雇用の定着に加え、障がい者の方のキャリアアップ、人材育成等の面も含めた内容の検討を行い、引き続き障がい者雇用の促進・共生社会の実現につながるよう努めていきたい。

障がい者雇用の推進にご協力を！共生社会の実現へ

滋賀県では、障がいのある人もない人も互いに尊重し、誰もが力を発揮できる共生社会の実現を目指しています。

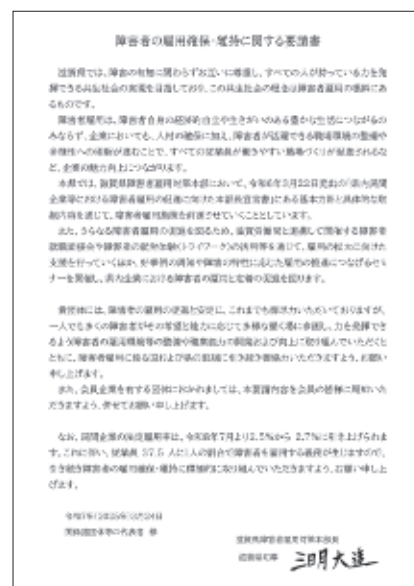
障がい者雇用は、働く意欲のある方にとって経済的な自立や生きがいにつながるだけでなく、企業にとっても人材確保や職場環境の改善、企業イメージの向上といったメリットがあります。

また、令和8年7月には、民間企業の法定雇用率が2.7%に引き上げられ、従業員37.5人につき1人以上の雇用義務が生じます。

会員企業の皆様におかれましては、障がいのある方が希望と能力に応じて活躍できるよう、雇用環境の整備にご協力をお願いいたします。

県では、障害者就職面接会や就労体験(トライワーク)の実施に加え、合理的配慮に関する情報提供や各種助成金制度をご用意しています。

まずは、お気軽に最寄りの「働き・暮らし応援センター」または「ハローワーク」へご相談ください。



「滋賀県社会保険労務士会と滋賀経済産業協会の意見交換会」を開催

3月5日(水)、滋賀県社会保険労務士会(以下、社労士会)との意見交換会を開催し、正・副会長を中心に参加いただいた。令和2年(2020年)2月から開催されているもので、今回で6回目となる。労働関連の法律や社会保険の専門家である社労士会の方々と意見交換を通じて経営者として気付きを得るとともに、社労士会の皆さんに企業経営の考えや経営課題を知っていただける貴重な機会となっている。多様な人材の活躍促進が重要課題となるなか、今回は高齢者雇用にスポットをあて、特定社会保険労務士 谷口暢生様に「令和の高齢者雇用の現状と企業に求められること」と題してご講演いただいた後、活発な意見交換が行われた。



「第21回カイゼン大会 - DX・BX推進」で活発な意見交換

3月7日(金)、「第21回カイゼン大会」がプロシードアリーナHIKONEで開催され、DX(デジタルトランスフォーメーション)・BX(ビジネストラansフォーメーション)をテーマに、県内企業による事例発表と意見交換が行われた。定員80名を超える参加者が集まり、熱気あふれる一日となった。

まず、(株)SCREENセミコンダクターソリューションズの岸田正明氏が、物流DXを活用したBOP生産の進化について発表。続いて、(株)森田電器工業所の中村優輝氏が、人協働ロボットとラズベリーパイを活用した現場改善について説明。松尾バルブ工業(株)の松尾直樹氏が、コロナ禍を契機とした企業変革とDX推進の事例を紹介した。兵神装備(株)の青木彩音氏・村里理穂氏は、5S活動と製造指示書のDX化による業務効率化を発表した。

発表後の質疑応答では、具体的な導入プロセスや課題解決策について活発な議論が交わされた。大会後の懇親会では、業界を超えた交流が生まれ、参加者から「他社の取り組みが参考になった」「新たなつながりができた」との声が上がった。

本大会は、県内企業が互いに学び、支え合いながら成長していくための重要な場となった。この大会を契機に、各企業がそれぞれの現場で新しいカイゼンに取り組み継続的な発展へと繋げていくことが期待される。



県内7社目！技術サービス業で県内初！**プラチナくるみん認定企業として、(株)日吉様を認定!!**

令和7年3月24日、滋賀労働局が、次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん認定」を行い(株)日吉様を認定しました。プラチナくるみん認定は県内7社目となり、技術サービス業では県内初となります。



株式会社日吉 代表取締役 鈴木 正(すずき ただし)様(左)と、滋賀労働局 多和田局長(右)

事務局人事

4月2日より当会事務局は職員として(株)滋賀銀行から足立 尚樹(あだち なおき)さんに出向いただくことになりました。皆様よろしくお願い申し上げます。

事業部 係長 足立 尚樹

出向期間満了にあたりご挨拶

渡邊 隼也

3月31日をもちまして、滋賀経済産業協会での出向期間が満了することとなりました。

この2年間、委員会・研究会活動、若年者地域連携事業など、様々な場面で貴重な経験をさせていただきました。これも会員企業の皆様はじめ、これまで関わってくだ

さった多くの方々のご支援とご協力のおかげだと大変感謝しております。ありがとうございました。

特に若年者地域連携事業は昨今の就活事情や各大学での取組を知るきっかけとなり、あらためて売り手市場での採用活動の難しさを感じました。

銀行に戻りましたら、皆さまとのご縁を活かし、社会に貢献できるよう日々精進してまいります。

最後となりますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。2年間、ありがとうございました。

研修期間満了にあたりご挨拶

森本 晃介

会員企業様、貴重な半年間の研修の機会をいただき、たいへん感謝しております。学校では経験ができないことに取り組むことができ、充実した研修を送ることができました。

特に「障がい者雇用促進セミナー」については、企画・実施をさせていただきました。多くの企業様と障がい者雇用について意見交換をすることができました。加えて企業様から学んだことで最も印象に残っているこ

とは、「利益」を求める以上に、「社会貢献」を目指されている点です。そのように企業運営をされている点に、教員として教育現場でも同様の視点を持ち、今後行動していかなければならないと強く感じている次第です。

この研修を通して、多くの皆様とつながることができました。皆様から頂いた温かいご支援に感謝いたします。

最後となりますが、会員企業様のご健康とご多幸、そして滋賀経済産業協会のますますのご発展を心より祈念し、お礼の言葉にさせていただきます。



人との大きさを比べてほしい、門型スーパーリフター！
2トン～300トンまで8台所有しています。
その他、様々な重量物の運搬に適した特殊車両を多数保有しています。

近江の
企業

Check!
クローズアップ

中山運輸機工株式会社

機械器具設置工事業として、重量物の運搬から据付まで一貫して行っています。工場の新設・移管・撤去の際は、ぜひご相談ください。

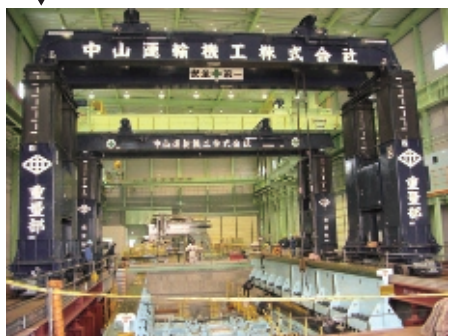
代表取締役 社長
山本 英幸



重量物をトレーラーで門型リフターの下まで運び込み、吊り上げてトレーラーは退出。



門型リフターは吊り上げに必要な高さがクレーン車より低いので、屋内での作業が可能。工場のライン新設、撤去もお任せください。



工場のレイアウト変更、運搬物の組立・据付・芯出・レベル出しから、試運転調整、メンテナンス、点検作業などアフターフォローもお手伝いします！

現在、機械器具設置工事業を柱に、一般貨物の運送業、倉庫業などを行っています。

1976年に、トラック10台から運送業として創業しましたが、届け先で設置や撤去も請け負うようになり、また、超重量物が運搬できる車両の導入を推し進めた結果、業界でも珍しい特徴を持つこととなりました。

社名から運送業と思われる方も多いですが、弊社の主な事業は「機械器具設置工事業」。工場の製造ラインで使われる工作機械など、超重量物の運搬から据付（設置）まで行っています。

パワー特化の運輸と設置

50周年へ進化と深化
現在、自動車関係を中心に、航

工場の新設や設備の搬出などの際は、お声がけください。工期や方法などをご提案させていただきます。

トラックやクレーン車、レッカー車、フォークリフトをはじめ、門型リフター（2トン～300トン）や低床トレーラーなど重量級貨物の運搬に適した特殊車両・重機を多数保有しています。精密機械や大型プラントの輸送など、豊富な経験をもとに通行許可申請など各種申請代行なども行っています。

豊富な車両と経験が自慢

座右の銘は「千里の道も一歩から」。今後も安全性向上と省力化を進め、会社や業界の魅力発信と発展にコツコツと努めたいと思っています。

空機やMRIなど医療関係の運搬設置もしております。来年、節目の50周年を迎えるにあたり、さらに他業種のお手伝いができればと思います。



クレーン車やアクティブサスペンション（油圧式）を装備した多軸トレーラーなど多数保有



中山運輸機工株式会社

滋賀県大津市石居1-7-17

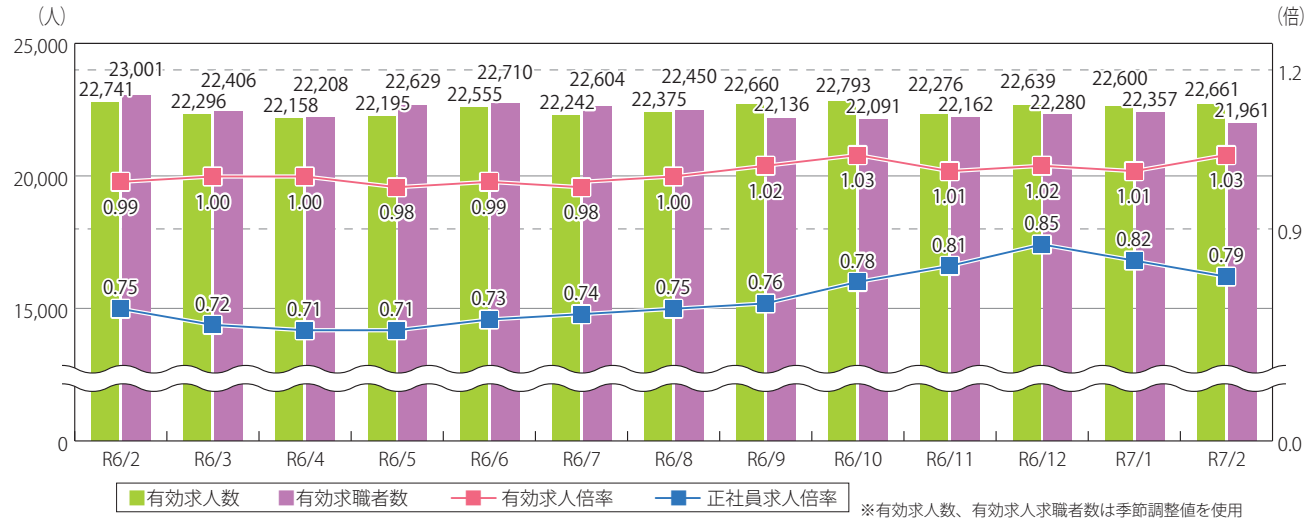
TEL: 077-546-0874

<https://nakayamaunyukiko.co.jp/>

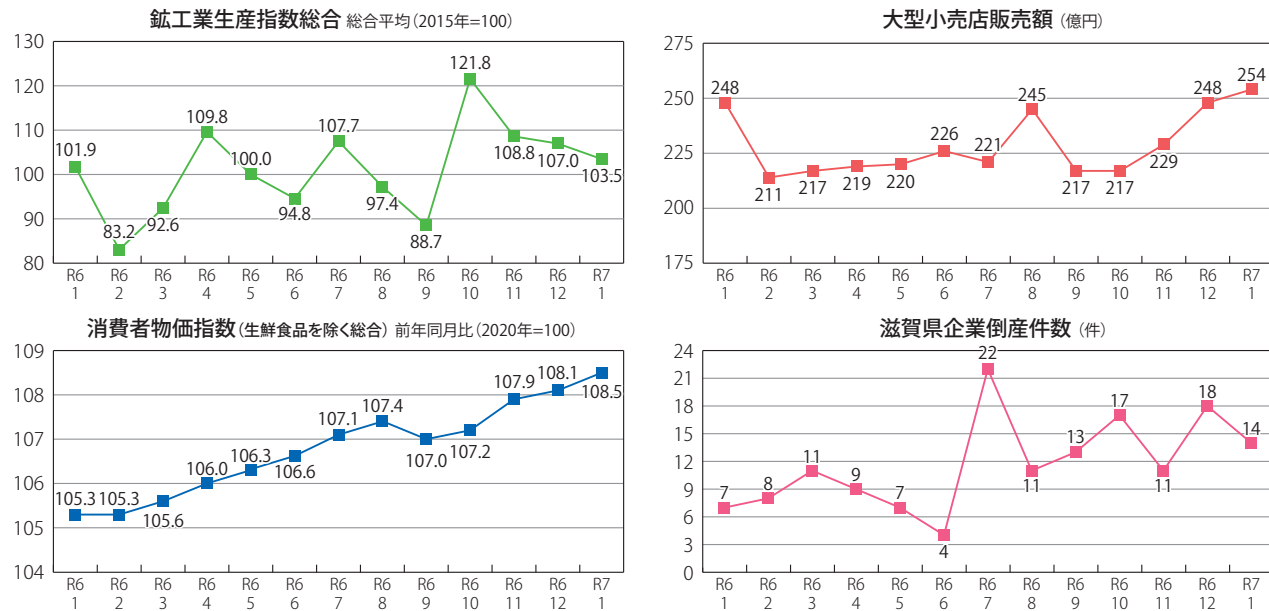


300トンの“超”重量物も運搬・据付いたします

◆◆求職・倍率状況◆◆



◆◆労働経済指標◆◆



◆◆◆労働実務相談室のご案内◆◆◆

相談内容は秘密厳守し、相談料は無料です。お気軽にご相談下さい。

- 相 談 日：毎月1回(原則第4水曜日(14:00～16:00) 祝日の場合は木曜日)
- 弁 護 士：置田 文夫 氏
- 会 場：滋賀経済産業協会内 <コラボしが21 5階>

※相談予約は、必ず2日前に事務局までお申込下さい。(TEL：077-526-3575)

無料
相談

事務局だより <5月の主な行事予定>

会 議 名	開 催 日	会 議 名	開 催 日
滋賀県就労支援事業者機構 理事会	5月15日(木)	滋賀県信用保証協会 理事会	5月24日(金)
令和7年度 通常総会	5月19日(月)	第1回 産業ひとづくり協議会	5月27日(火)
滋賀県緑化推進会 理事会	5月22日(木)	第1回 一八会(ゴルフ同好会)	5月29日(木)



●用紙:琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー
●インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷